後國女太平記

五之

僧國世系記卷之十二

同家

一 小林御龍新嚴法師

附 同家又御弟子

一 男新藤六中御使法師

附 御師新信法師

一　甲斐守源常高朝臣

附　御書下ハ諸大名

慶長十五年記事十三巻

木乃丸新丸殿様

附　加賀守父母事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

足し[illegible]将軍[illegible]
[illegible]
今[illegible]
[illegible]
ちること[illegible]
[illegible]清盛[illegible]
[illegible]は
[illegible]一つ[illegible]泰平の天下

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]将軍[illegible]
[illegible]天下[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尽し春夏秋冬ともに花のさかり
なしその[illegible]ゆ[illegible]風流なく
[illegible]は[illegible]今[illegible]ん[illegible]
[illegible]り[illegible]ろく[illegible]三[illegible]の[illegible]
かしこ[illegible]門[illegible]ん[illegible]く
[illegible]や[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]の[illegible]し御入
かしましや[illegible]れ[illegible]の[illegible]

[illegible]りん[illegible]しく御[illegible]
[illegible]しく[illegible]の[illegible]く
[illegible]入[illegible]
まては[illegible]し中[illegible]へ
八[illegible]の[illegible]人[illegible]て
[illegible]り[illegible]く
[illegible]上これ[illegible]して[illegible]
られたるその[illegible]りて[illegible]

此祇園のむかしは女三宮水瑞へとて御座
舞うかの二八ばかり姫君あまり机に白紙
置のうちにね筆とりながら硯すりと思し膝の
上におひてひかれてさらしのみ墨摺りの段
向井は柳かせ見へしは御殿やの男の童形ほして
上臈かし経験あきんでいづれ舞ゐうもあ奉きに
らんきんの鉾にも錦りきさんのもり付まいは
古きは町御所の家風筆て牧りの今は

是はつれ〳〵の茶やかりも見取扱の手ならひ
御経ふ女いりて物かきやはて揃てもひとつし
是は此のくらら風仏をおさなしてい加茂人形は
の塊へとさてかしらいましろ人とかりて新
前に先をうちのもりは中はけても書けしき父母
の手紙をのひかし人をおかり瑛ん先を
さかゆかりは我の翁小小頼まて今日
かゝみの御伯様きりてもゝ照御中の一切よゝそうかく

うれしき年いよ〳〵[illegible]三ヶの中父母
身は[illegible]しく[illegible]かなしすいかなる世なりとも
[illegible]
むかしの[illegible]
いま[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
かなしみ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]中[illegible]事

附所加修行後登尊本
後生ハ早産ニ西方ヘ引せめし給事
の所業ニ者と成ハ
もつまると信者ハ信心所願せ
の中ハ之者ハ打かつ出家者
ハ僧形ニ成て西方ヘ引ぬく事
ハ早産ニ成の金剛堅固の事
ハ引ぬく聖法球形ひ之出

西方世界ハ世界ハ
ひんとよ所ハ文殊菩薩ハ勢至菩薩
ハ阿弥陀ハ観音ハ
ハ阿弥陀ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

越前守殿みなしの宮へらつき年参詣ありて
惣て毎日御参詣なされ随分人と引之ある
らせまし衆まいりかまし御本尊御前節会
御参詣もありけれハ其時所役出世のよし
ゑく及ばず常しせまゐらせへハ其のの
ぎ之諸役人宗なのめならず喜ふ
然るにとも兎角は仏神の御加護をおもひ
精進一心入今天下の安全を護持院

右の僧正ハけしても祈祷いたさせ玉はるし
如んまける御本尊とも同しまつり
護持院隆光御坊へ当れハ祈祷の功かけ
られける護持院ハ諸人よ国家安全を
ごらくし寺の御尊崇大なり隆盛
頭ハ秘法をとり行れ云々
且ハ今やまた第二く年のかん
より度々おゐて大納言殿の御祈祷あし

加法の西来なりとかんしけるに護持院
まりりんかすその行力は将軍御脳平癒ます
んといらし抽んでくわこうひけるけ幣のろ
ごく年婦しき参らす加持て幣の串浮
人参かうくまで気療して除数除石
強きりかけるもの多く徳は将軍も新のごとく
むりこくと之とれ九ツ所精は平癒の事あり
行れ秘方同徒衆りくる為之所精は平癒事

所しん地は護持院なりと寺号弘文後
計りがたくとまよ将軍家の御為ま
氏族なる吉方にて孫作せんより古へしとも
君の内外をまとめたる稲種祝しはか七日
ほどちしくや内御所とうれん六十のまもるて
まこしも新むしすりわれ中にて護持院の寺
いさま出之雲く同じ御屋敷す護持院の前
精じるの御かくへん新のごとく法幣

動く龍の功力世にまかせ世に知らしむ人もなし
言尾張け君御詞花身人形や何んと
昭帝陰陽の中にゆきい古体語からをまつり
中にあやしきものの化身の君しかしてあらわれ
りし人形と見えしきもの湯気悪からず
わざにけれどもいま直管ものに
三位も古体語からぞうしやかさ
大事なれバ人の御をかり後御の首中

一かくありし讃えは出来りしは上
勝手かはかく一古体の所にありて
めのせぬやうにとためなれは気分よくをまて
神いしものどもハ詞作乃秘伝けいれい
以て其後神て形しい人をとひ越えん事
然るにけふりハしたる今日
うしろもさもし常もなき法す之とかなり
しれば龍田ほそくかさにけさの

此書(こしよ)は其(その)はじめはありしを思ひ出ては是(これ)祈(いのり)

もとむ法(ほう)[illegible]やと思ひけれはいかさまそれの

[illegible]をしれは[illegible]相伝(さうでん)の秘(ひ)は祈(いのり)しや法(ほう)

是(これ)を[illegible]けすまひ西(さい)方(ほう)[illegible]は西(さい)方(ほう)勝(しやう)[illegible]事

すしてやけれは諸天(しよてん)善神(ぜんじん)より[illegible]

其の祈精(きせい)のこりけれは[illegible]の者

二つにて[illegible]けれは諸天(しよてん)善神(ぜんしん)の[illegible]

[illegible]の[illegible]此書(このしよ)を[illegible]

中[illegible]はいせんなれは大[illegible]の[illegible]

是(これ)を[illegible]護持(ごぢ)[illegible]

[illegible]

門(もん)[illegible]

中[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

附御墨所請文之事

抑此程ハ無音之條[illegible]

當番[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

薩国少年記巻之十二終